

① 学習指導案

プログラム	No.5 「地域カルタを作ろう」
単元名 (全50時間)	都岡四十一景 ～都岡のまちのよさをみんなに伝えよう～
学習のねらい	都岡の街にあるものや景色などについて実際に街を歩いて調べ、それをカルタの形に表すことで、都岡のまちに愛着をもつ。
学習内容	1 都岡のまちを探検し、紹介したいことを見つける。 2 紹介したいことをカルタにしてまとめる。 3 作ったカルタを様々な人に遊んでもらい、まちの良さを伝えあう。 4 できあがったカルタを「都岡四十一景」としてまとめる。
参考資料 準備品 実施場所等	学区地図・タブレット端末・絵の具・画用紙

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1～ 10	社会科のまちたんけんの学習を振り返り、もっといろいろな都岡のまちのよさを見つけようとする。	まちたんけんでは行くことのできなかった都岡のまちのまちたんけんをする。	都岡のまちをたんけんし、自分が紹介したい場所について見つけることができる。
11 ～ 25	見つけた都岡の街のよい所・景色のよい所についてのカルタを作る。	写真屋さんやカルタづくりに携わる人のお話をきながら、絵札や読み札を工夫して作る。	自分が紹介したいところをカルタにして伝えることができる。
26 ～ 40	できあがったカルタを様々な人に遊んでもらい、都岡のまちのよさをたくさんの人に伝える。	ただ遊ぶだけではなく、遊びを通して都岡のまちのよさが伝わったのかを検証しながら行う。	遊んでもらった人の思いも取り入れながら、よりよいカルタを作ることができる。
40 ～ 50	仕上がったカルタを「都岡四十一景」にまとめる。	遊んでもらった人の思いも取り入れながら、カルタを完成させる。	

<留意点>

○情勢などによりまちたんけんができなかった場合には、保護者の協力等を得てタブレット端末でまちのよい所・景色のよい所を写真に撮ってもらう。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立都岡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1~5	教室	社会科のまちたんけんの学習を振り返り、もっといろいろな都岡のまちのよさを見つけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> • まちのよさに対する視点を広げるため、資料として「旭区未来に残したい景色50選」を資料として提示した。 	都岡のまちの良いところは、 <ul style="list-style-type: none"> • 人が優しい • 食べ物がおいしい • 景色が良い
6~14	教室	見つけた都岡のまちのよい所・景色のよい所についてのカルタを作る。 	コロナ禍でまちたんけんができなかったため、タブレット端末の地図ソフトなどを活用して資料収集をした。	<ul style="list-style-type: none"> • 私はまちにある個人商店でカルタを作りたい。 • 景色のよい〜でカルタを作りたい。 • 読み札も友達と一緒に考えよう。
15~40		笑顔あふれるまちの景色をつくりあげるために、自分たちで取り組んでいる総合学習の成果を発表する。 	見つけた景色などのよさだけでなく、自分たちもよい景色づくりをするため、地域にあるケアプラザに総合学習の成果を発表した。	<ul style="list-style-type: none"> • 総合の学習で取り組んでいる大道芸を地域の人に発表し、笑顔あふれるまちの景観づくりをしよう。 • 地域の人が喜んでくれてよかった。
40~42		仕上がったカルタを「都岡四十一景」にまとめる。 	できあがったカルタを校内に掲示し、全校児童に向けて都岡のまちのよさを発信した。	<ul style="list-style-type: none"> • 都岡のまちのよいところがいっぱいあることが分かった。 • カルタで都岡のまちのよさが伝えられてよかった。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・カルタにすることで、まちのよさが伝わることを伝えるため、資料として都道府県カルタを用いた。・まちのよさを見つけるだけでなく、自分たちがまちのよさを創り出すという視点を持ち、笑顔あふれるまちづくりを目指し、総合学習で取り組んでいる大道芸の活動とリンクさせた。・大道芸の活動を充実させるため、実際にクラウンとして活動されている方を講師に招き、見ている人を笑顔にするには何が大切なのかを学ぶことができた。
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でまちたんけんができなかったため、見つけたまちの景色などが制限されてしまった。地図ソフトや航空写真を活用して、資料を収集した。・コロナ禍でまちに出るの活動が難しかったため、大道芸の発表についても、事前に収録した動画を見せるなどして発表した。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・都岡のまちに良いところがいっぱいあることが分かった。・大道芸をして、周りの人が喜んでくれてよかった。・人前で発表する力がついた。・地域カルタづくりで、まちのよさを色々見つけることができてうれしかった。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で様々な活動の制約を受けたが、まちのよさを見つけるということだけでなく自分たちが笑顔あふれる景観まちづくりに参画するという視点を持ち、総合的な学習の時間に取り組めたことは、子どもにとっても担当教諭にとっても大きな学びとなった。・子どもたちは地域の良さを日ごろから感じており、言葉にすることでより実感できることが分かった。また、はじめは地域の良さを個々で話しているだけだったが、そのまちのよさが伝わるようにするにはどうしたらよいか、文章等を工夫しながら考える姿が見られて、相手意識を持ちながら課題に向かう姿に変化していくように感じた。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・実際にまちを探検したり、直接まちの人とかかわったりすることができれば、相手意識がもっと明確になり活動がさらに充実したと考えられる。